

一般質問

立 鈴
議員

○前回質問の防災行政無線・小中学校施設雨漏りに関するその後の対策について

質 近年、異常気象が原因なのか甚大な被害を伴う災害が生じている。避難は一刻の猶予も許されない。近年は、多世帯家族から核家族世帯となっていることから、早急に個々の世帯に防災行政無線の設置を実施すべきと思うが、市の対応を伺いたい。

防災課長 議員ご指摘の世帯に対しては、戸別受信機設置管理要綱の運用を見直し、申請をしていただければ配布することとしています。

質 小中学校施設の雨漏りが多数校に見受けられる。教育は最も大事である。施設のいたるところで雨漏りがひどいのは教育環境上早急に改善すべきことと思うが、教育長および市長はこの件についてどう対処しようと考えているのか伺いたい。

教育長 私としては、速やかに補修をしたいの思いますが、雨漏り対策のほかにも、各学校からはさまざまな要望が出されており、程度の状況や緊急性などを考慮し、優先順位をつけて対応しているところです。

○地滑り災害地区の不老山・赤木・笛吹各地区の復旧工事の現況について

質 地滑り災害地区の不老山・赤木・笛吹各地での災害について、復旧作業に従事しておられる方々も大変頑張っておられるが、近隣住民の方々も不便な日々を過ごしておられる。これまでの工事内容とこれからの工事進捗状況を伺いたい。また、それぞれの地滑り災害地の通行可能時期およびすべての完成目途期日を伺いたい。

建設課長 不老山山腹の災害については、法面安定工、湧水対策工、落石対策工が計画されており、厳しい現場条件下での工事となることから、現時点では市道不老山公園線を利用できるようにするのは、令和6年度中と見込まれています。赤木地区の一般県道上志佐今福停車場線の災害については、現場吹付工に加え鉄筋挿入工により法面の安定化を図る工事が進められており、11月末時点での工事進捗率は約60%、現時点での工事完了は令和5年3月末を予定されています。笛吹地区内の市道原石山線の災害については、崩壊土砂の撤去工事、法面の安定化を図る現場吹付法砕工の工事を進めています。埋まっていた市道部において、路肩の崩壊や陥没などが確認されたことから、令和5年3月17日まですとなつて工期の延長も視野に入れながら国や県との協議を行っています。

一般質問

本 宮
議員

○元寇船引き揚げ対策について

質 元寇船の引き揚げには相当な費用がかかるため、国のプロジェクトとして実施していただきたいと政府に要望していますが、市も引き揚げのための元寇船引き揚げ基金を設置して、ふるさと納税制度とクラウドファンディングを併用するようなことを検討してはと考えますがいかがか。

市長 現在、本市は国に対して国家プロジェクトとして元寇船を引き揚げてください、あくまでも実施主体は国でお願いしますということを申し上げていますので、私どもが実施主体となるということを現時点では想定しておりません。

したがって、私どもがそのいかりの引き揚げのために基金を造成するということについては、現時点では考えていません。

○再生可能エネルギー導入推進計画の実行について

質 市長は、地元の理解が得られなければ実行しないのか、風力発電業者が地元の理解を得てくれれば許可したいが、今のところ、反対

の声があるので許可できないと言っているように聞こえますが、市長の考え方を述べてください。

市長 松浦市再生可能エネルギー導入推進計画における風力発電については、まずはそれらの可能性調査を行って、そして、事業者が自ら手を挙げていただけるかどうか、このことによつて、その後の方向性が決まってくると思っています。

あわせて、今ご指摘の法知岳の件については、今年の3月の時点において地域の理解が得られていないため、現時点でお貸しできないということをお答えしており、それぞれその関係企業が地域に対して、今後導入されるのであればその説明をなさるべきと考えていますので、私どもがその調整をしているという状況にはありません。

このほかに、「雇用の場拡大と第二水産加工団地用地造成について」「国立・水中考古学術研究所の誘致実現化戦略について」「松浦市の歴史・文化財を中心としての観光対策について」「松浦高等学校への支援策について」「ふるさと納税増大戦略について」質問しています。